

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校プール改築事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	02	01	09	54
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校の児童、教職員及び学校施設利用者	意図	老朽化したプールの改築
事業内容	・老朽化による塗装の劣化、漏水等が発生しているプールを改築する。			
事業開始から現在までの状況変化	・平成25年に東小学校のプール改築設計を実施し、平成26年度に改築工事を実施。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		プール改築設計業務委託	0	1	0	校	
	プール改築工事	0	0	1	校		
指標で表すことができない定性的な成果	老朽化したプールの改築による教育環境の改善				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・今後のプール改築予定はないが、各校のプールの劣化状況を見ながら、改修もしくは改築の必要性を判断していくことが必要。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			6,289,570	194,254,173			
事業費（b）（円）			6,069,000	188,726,760			
うち一般財源			6,069,000	82,760			
職員給与費(c)(円)			220,570	5,527,413			
人役・職員(人)			0.03	0.80			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			0.01				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	工事費のコスト削減に努める。
今年度(H26)に実施した取り組み	学校プールの改築事業を実施した。

取り組みの課題	他の施設同様、プールについても老朽化が進んでいるため、各校の劣化状況等を適切に把握することが必要。
今後の改善計画	特になし